

期間限定特別展示

令和5年 10/3火~9月

「波平」の銘が刻まれた最古の刀

重要文化財 太刀：銘 波平行安号 笹貫ささく貫 [京都国立博物館蔵]

記念講演会・展示解説講座【聴講無料、事前申込制】

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>A 記念講演会1
令和5年10月8日(日)</p> <p>九州南部の南北朝内乱</p> <p>南九州大学非常勤講師
新名 一仁氏</p> | <p>B 記念講演会2
令和5年10月22日(日)</p> <p>南九州の南北朝内乱と九州探題今川了俊</p> <p>東京大学史料編纂所准教授
堀川 康史氏</p> | <p>C 記念講演会3
令和5年10月29日(日)</p> <p>南北朝期の合戦の実態と情報操作</p> <p>元栃木県公立学校長
松本 一夫氏</p> | <p>D 展示解説講座
令和5年11月4日(土)</p> <p>南北朝の動乱と南九州の武士たち</p> <p>黎明館学芸専門員
吉村 晃一</p> |
|--|---|---|--|

【会場】黎明館2階 講堂(245席)

【時間】13:30~15:00(開場 13:00)

【申込方法】電子申請または郵便往復はがき

※同一住所の方に限り、1回につき2名様までお申し込みできます。
※複数のイベントへの参加を希望される方はイベントごとにお申し込みください。

【申込期間】電子申請、郵便往復はがき共通(はがきは申込期限内の消印有効)

- A** 記念講演会1: 8月20日(日)~ 9月20日(水) **C** 記念講演会3: 8月20日(日)~10月11日(水)
B 記念講演会2: 8月20日(日)~10月 4日(水) **D** 展示解説講座: 8月20日(日)~10月18日(水)

電子申請で申し込みの場合

各QRコードを読み取り、各講演会の参加申込ページにアクセスしてお申し込みください。
黎明館ホームページの企画特別展特設ページや、「講座・講演会」ページからもアクセスできます。
お申し込みが完了しましたら、確認メールが自動配信されます。

郵便往復はがきで申し込みの場合

郵便往復はがき(126円・私製を除く。油性ボールペンで記入)に下の記入例のとおりご記入の上、お申し込みください。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
I 往信 (住所面)	II 返信	III 返信 (住所面)	IV 往信

- I 往信(住所面) … 〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号 黎明館講演会係
II 返信 …… 記入不要(応募結果を印刷して返送します。)
III 返信(住所面) … 氏名・郵便番号・住所
IV 往信 …… ①参加を希望する講演会のアルファベット ②氏名(ふりがな)
③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤当日黎明館公式SNS閲覧の可否
⑥その他 [車椅子のご利用、視力・聴力等の理由により特定の座席(例:前方)をご希望の場合、ご記入ください。]

応募結果について

○応募者多数の場合は抽選になります。応募結果は、電子申請の方はメールで、往復はがきの方は返信はがきにてお知らせします。
各講演会・講座の3日前までに通知がない場合、下記の連絡先へお問い合わせください。
○また、都合により参加できなくなった場合も、同様にご連絡ください。

講座当日について

○電子申請の方は返信メールの画面を、往復はがきの方は「入場整理券」と記載のある返信はがきをご提示ください。
○未就学児のお子様の同伴はご遠慮ください。

講演会・講座当日、諸事情による開催中止や変更等の情報については、黎明館公式SNS(FacebookおよびTwitter)で随時情報提供します。

SNSの閲覧が難しい方は、当館へお電話でお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉鹿児島県歴史・美術センター 黎明館 学芸課 099-222-5404

交通	
飛行機	鹿児島空港より、鹿児島市内行き空港バス「市役所前」下車徒歩7分
JR	「鹿児島中央駅」より、市電・バスを利用 「鹿児島駅」より 徒歩15分
市電・バス	「市役所前」下車徒歩7分
市内巡回観光バス	「薩摩義士碑前」下車すぐ
駐車場	
	照国神社大鳥居をくぐって右折し直進(普通車125台、バス20台)

鹿児島県歴史・美術センター 黎明館
Tel.099-222-5100 〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号
https://www.pref.kagoshima.jp/rcimcikan/



令和5年 9/29金~11/5日 会期中、展示替えを行います。

黎明館 2階第2特別展示室
9時~18時 入館は17時30分まで(初日は10時開場) 休館日/10月2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(水)、30日(月)

観覧料 一般 800円(600円) 大学生 500円(350円) 高校生以下 無料

※()内は団体[20名以上]、前売券料金 ※障害者手帳の提示で免除(介護者1名免除)
※前売券は、7月20日(木)から黎明館、南日本新聞販売所、MBC南日本放送、山形屋、マルヤガーデンズ、生協コープかごしま各店、
アマチュア鹿児島、鹿児島県職員生活協同組合、ファミリーマート(イープラス)において販売

主催/令和5年度黎明館企画特別展実行委員会(鹿児島県歴史・美術センター黎明館、南日本新聞社、MBC南日本放送)
後援/鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、NHK鹿児島放送局、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、μFMエフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム 特別協力/東京大学史料編纂所

40 鹿児島県歴史・美術センター 黎明館 〒892-0853 鹿児島市城山町7番2号 Tel.(099)222-5100(代表)
燃ゆる感動 かごしま国体・燃ゆる感動 かごしま大会
後援制天皇像 模本 [清浄光寺(遊行寺)蔵] / 重要文化財 金剛の御座(八幡大菩薩像) [個人蔵(九州歴史資料館保管)] / 重要文化財 木造足利尊氏坐像[安国寺蔵] / 重要文化財 経糸鹿野 虎・大袖付[鹿児島神宮蔵(黎明館保管)] / 足利重冬御物係伏(岡元文書)[黎明館蔵]
後醍醐天皇繪巻(岡元文書)[黎明館蔵] / 源川合戦扇屏[個人蔵(和歌山県立博物館保管)] / 埼玉県指定有形文化財[太平記絵巻] / 埼玉県歴史と民俗の博物館蔵

重要文化財
金鳥の御旗(八幡大菩薩旗)〔個人蔵、九州歴史資料館保管〕



重要文化財
紺糸威鎧兜・大袖付〔鹿児島神宮蔵、黎明館保管〕



足利直冬軍勢催促状
貞和6年(1350)11月30日付
岡元文書【黎明館蔵】

征西將軍宮・懷良親王と足利直冬の九州下向

南朝・後醍醐天皇に派遣された懷良親王
観応の擾乱の影響で逃れてきた足利直冬
九州の地を舞台に
宮方(懷良親王)・將軍方(尊氏)・佐殿方(直冬)
三つ巴の戦いが繰り広げられる!

舞台は南北朝時代!
争乱が相次ぐ激動の時代、
南九州の武士たちは
いかに戦い抜いたのか!?

第3章



国宝 島津道鑑(貞久)讓状
貞治2年(1363)4月10日付
島津家文書【東京大学史料編纂所蔵】



今川了俊官途吹拳状
応安6年(1373)10月1日付
樺山家文書【東京大学史料編纂所蔵】

第4章 九州探題・今川了俊の九州下向

南朝勢力が優勢となった九州に下向した
九州探題・今川了俊
南朝勢力の拠点・大宰府を攻略するも
やがて島津氏と激しく対立する



国宝 太刀:銘 国宝【照国神社蔵、黎明館保管】

Epilogue

室町時代の南九州の武士たち

南北朝合一後も、南九州では
家督継承を巡る島津氏一族間の争いに
有力国人たちが参戦
大規模な闘争が続いた



足利義教像(部分)
【東京大学史料編纂所蔵】
展示期間 9月29日~10月9日
10月18日~11月5日

中世は、鎌倉時代のモンゴル襲来
という国難から、幕府滅亡とその後の
南北朝の動乱へと、次々と争乱が勃
発する激動の時代でした。本展覧会
では、これら相次ぐ争乱に直面した
南九州の武士たちが、生き残りをかけ
て戦い抜く姿を、現代に遺された古文
書を手がかりに、関連する考古資料や
絵画資料等を交えて紹介します。



蒙古襲来絵詞(大矢野家本)(部分)【個人蔵、熊本県立美術館保管】

Prologue モンゴル襲来と南九州の武士たち

モンゴル軍の襲来——
その時、南九州の武士たちは
どう立ち向かったのか!?



重要文化財
木造足利尊氏坐像
【安国寺蔵】

第1章

後醍醐天皇による建武政権樹立

鎌倉幕府に反旗を翻した足利高氏(尊氏)
これに続いた有力御家人たち
遂に150年続いた幕府は滅亡し
後醍醐天皇による建武の新政が始まる——!



後醍醐天皇論旨
元弘3年(1333)11月9日付
岡元文書【黎明館蔵】



後醍醐天皇像 模本(部分)
【清浄光寺(遊行寺)蔵】

第2章 南北朝の動乱の幕開け

足利尊氏、新田義貞、楠木正成——
相次ぐ争乱の中
武将たちは生き残りをかけて戦いに挑む



埼玉県指定有形文化財
「太平記絵巻」巻第六 多々良浜合戦事(部分)
【埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵】



湊川合戦図屏風(右隻)
【個人蔵、和歌山県立博物館保管】